

コメントのテキスト分析

概要

- コメント総数 119件
 - 最大長 4,613 文字
- 所属先による分類 / 個人・組織の別

国立大学	47	個人	65
私立大学	45	組織	54
国内機関	10		119
海外機関	7		
関連業者	5		
その他・不明	5		
	119		

- KH Coder (<http://khc.sourceforge.net/>) の利用

語の出現頻度

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
書誌	740	典拠	97	資源	59
データ	262	リンク	95	現在	58
作成	227	可能	87	修正	57
システム	207	機能	87	運用	56
情報	155	検討	87	フラット	54
レコード	154	作業	86	今後	54
思う	154	調整	74	意見	53
図書館	154	考える	72	負担	51
利用	149	軽量	68	単位	47
目録	134	行う	67	構造	46
名寄せ	126	大学	66	自動	46
検索	121	外部	65	方針	46
所蔵	119	機関	65	既存	44
資料	109	ローカル	63	新規	43
場合	108	業務	62	表示	43
登録	101	構築	62	変更	43
必要	101	参加	61	案	42
重複	100	合理	60	管理	42
対応	97	電子	60	存在	40

Search Entry

抽出語: 重複

品詞:

活用形:

追加条件

検索

ソート1: 出現順

ソート2: 出現順

ソート3: 出現順

(前後 20 語を表示) Ready.

Result

んだと思いますが、やった方が良くと思います。ただ、**重複** 書誌が増えるのは、使いづらくなるのではと危惧しま
 ↓) 図書を担当していたことがあり、この度の案では **重複** 書誌を認めたり、書誌の修正や書誌調整の不要等
 今までのNIIの方針と大きく異なることに驚きました。 **重複** 書誌がどんどん出来て利用者側、そして実務を行う
 す。図書を担当していたことがあり、この度の案では **重複** 書誌を認めたり、書誌の修正や書誌調整の不要等
 今までのNIIの方針と大きく異なることに驚きました。 **重複** 書誌がどんどん出来て利用者側、そして実務を行う
 度次第だと考えているが、提示された案からは「常に **重複** レコードが存在する(ことを前提に検索する必要があ
 ームとOPAC)は、提示されたような書誌の持ち方(**重複** 書誌が名寄せされる)を前提としていない。特にOPA
 書の軽量化 (2) 書誌管理作業負担の軽減 「 **重複** 書誌データ作成防止のための念入りな検索、 **重複**
 重複書誌データ作成防止のための念入りな検索、 **重複** 書誌報告・統合などの書誌管理を不要とする。」
 誌データの別途作成によって対応する。」とあります。 **重複** 書誌の扱いについて、お尋ねします。 上記のような
 について、お尋ねします。 上記のような方針では、 **重複** 書誌が多数できる可能性があります。 名寄せをす
 いのではないかと考えます。 よって、現状どおり、「 **重複** 書誌は原則作成しない」という方針は残したほうがよ
 ないだろうか。 3.1(2)ので別途作成した書誌は、 **重複** 書誌といえるものもあるだろうが、それは「名寄せ」の外
 されてしまうと大きなノイズになります。 書誌の **重複** を許容するとしても書誌が作成済みかどうかの確認は
 、いくつかメリットがあり、理解できる部分もあるが、「 **重複** 書誌データの容認」や「書誌レコード調整の廃止」な
 ノコード調整の大半はNACSIS-CATの独自構造と **重複** 書誌不可方針によるものだと思われるので、大幅な

コピー

文書表示

表示単位: 段落

前200

次200

ヒット数: 100, 表示: 1-100

保存

集計

Search Entry

抽出語: 品詞: 活用形: ソート1: ソート2: ソート3: (前後 語を表示) Ready.

Result

の書誌にまとめてくれると嬉しいです。(↓)・著者名 **典拠** リンク形成は同名異人の多い場合を踏まえ完全な目録書の書誌においてもCiNii Article並みに著者名 **典拠** リンクの繰り返し制限を大幅に緩和してほしい。著者名、書誌構造リンクの廃止ということですが、統一書名 **典拠** レコードへのリンク形成が自動で行えるのであれば、シリーズの著作の **典拠** レコードを作成し(こういうものも現行書誌レコードからとも関連の一部としてあってもよいのではと思います。 **典拠** レコードのリンク形成自動化や、現在REMフィールド(をどうするか。(シリーズ全体の責任表示や著者名 **典拠** リンク、注記、CLS,SHなど) ・VOL積み書誌のページの「コーディングマニュアル」、「目録情報の基準」等 **典拠** に正しく準拠して作成された既存書誌が漏れなくデータベース)の意見に負けずに頑張ってください。(↓)・ **典拠** のリンクを機械化してどこまで信頼性があるのでしょうか想定した場合の疑問点について述べる。「著者名 **典拠** レコード, 統一書名 **典拠** レコードへのリンク形成作業について述べる。「著者名 **典拠** レコード, 統一書名 **典拠** レコードへのリンク形成作業は、従来「書誌作成」として述べるくらいなら、部分的なキーワードによって既存 **典拠** レコードを検索し同定・リンクする方がはるかに楽に思えるが、いかがか(既存 **典拠** レコードを確認しなければ、同名異人がいるので識別)。なお、「機械的な処理」は、新規に作成された **典拠** レコードを既存書誌レコードの **典拠** 未リンクALと同定規則で作成された **典拠** レコードを既存書誌レコードの **典拠** 未リンクALと同定するには有効かもしれない。「シNCRの改訂、改訂後にNDLから提供される書誌・ **典拠** データはどのようなものか、明確になってからでも遅くは遅くない。メールは、RDA・新NCRに定められたエレメンツごとに **典拠** レコードに記録されることで、属性情報の附則ゆえに

表示単位:

ヒット数: 97, 表示: 1-97









